「５年後。１０年後にはどうなっていると思いますか？」

「５年後。１０年後にはどうなっていると思いますか？どうなっていたいですか？どんな未来像を描いていますか？」

あなたもご存知でしょうが、これは、引っ掛け問題です。この質問を言い換えると、「５年後も１０年後も我らの奴隷で居てくれますか？」と言う事です。

言っても、奴隷主（会社）さんも時間とエネルギーとお金を掛けて、長い間、忠誠を誓い、飼いならせる奴隷を探しているわけです。

それに対して、「ゆくゆくは起業したいと思います。」「御社で学んだ経験を活かして、他の仕事をしたいと思います。」「アメリカに渡り、ＭＢＡを取りたいと思っています。」と言うように、「お前から奪える物奪ったら、スグにバックれてやるからな」と言う脱獄する意思をあなたが見せつけたら採用される可能性が一気に下がるわけです。

他にも「５年後にはあなたの席に座っているでしょうね」「会社の幹部になっているでしょう」と言うように、カス大学生が会社様を見下すような発言をすると言うのは、侮辱でしか無いので、気を付けましょう。

だから絶対に、「５年後も１０年後もあなたの奴隷で居続けます。」と言う意思をこの質問の返答を通して、示す必要があるのです。

例えば、

「私が御社に入社したと仮定して、私は５年後も１０年後も御社で働いていると思います。何故なら、私と御社は同じようなビジョン、ゴール、目標を持って居ます。私が応募しているこの役職は私の強みを活かせると同時に私がやりたかった事でもありますので。」と言うように、あなたの未来は会社と共にあると言うような解答が望ましいでしょう。

度を越して、「５年後、１０年後とは言わず、私は御社で骨を埋めるつもりでございます！」とは言わないようにしましょう。会社を墓場と形容する皮肉さは買いますが、その強すぎる信念と圧は、重くて怖いですから。